(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7631297号
(P7631297)

(45)発行日　令和7年2月18日(2025.2.18)

(24)登録日　令和7年2月7日(2025.2.7)

(51)国際特許分類		ＦＩ		
Ｂ６５Ｄ　85/10　(2006.01)		Ｂ６５Ｄ	85/10	
Ｂ６５Ｄ　5/38　(2006.01)		Ｂ６５Ｄ	5/38	Ｃ

請求項の数　13　（全19頁）

(21)出願番号　特願2022-503850(P2022-503850)
(86)(22)出願日　令和2年8月14日(2020.8.14)
(65)公表番号　特表2022-544649(P2022-544649A)
(43)公表日　令和4年10月20日(2022.10.20)
(86)国際出願番号　PCT/EP2020/072873
(87)国際公開番号　WO2021/032622
(87)国際公開日　令和3年2月25日(2021.2.25)
審査請求日　令和5年8月2日(2023.8.2)
(31)優先権主張番号　19192180.8
(32)優先日　令和1年8月16日(2019.8.16)
(33)優先権主張国・地域又は機関
欧州特許庁(EP)

(73)特許権者　596060424
フィリップ・モーリス・プロダクツ・ソシエテ・アノニム
スイス国セアシュ－２０００ ヌシャテル、ケ、ジャンルノー ３
(74)代理人　100094569
弁理士　田中 伸一郎
(74)代理人　100103610
弁理士　▲吉▼田 和彦
(74)代理人　100109070
弁理士　須田 洋之
(74)代理人　100067013
弁理士　大塚 文昭
(74)代理人
西島 孝喜

最終頁に続く

(54)【発明の名称】　係止機構を備えたボックスおよびスリーブを含む容器

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

消費財のための容器であって、前記容器が、

外側スリーブ前部壁、外側スリーブ後部壁、対向する第一および第二の外側スリーブ側壁、外側スリーブ上部壁、および第一の開放端を含む、外側スリーブ、および、

内側ボックスであって、前記外側スリーブ内に配置され、

ユーザーが前記内側ボックスの内部にアクセスできない第一の位置と、

ユーザーが前記内側ボックスの内部にアクセスできる第二の位置との間で、前記外側スリーブに対して摺動可能であるように構成される内側ボックスを含み、

前記第一の位置から前記第二の位置への前記内側ボックスの摺動が、前記内側ボックスの少なくとも一部が外側スリーブ開口部を通過することを伴い、

前記内側ボックスが、内側ボックス上部壁、内側ボックス底部壁、内側ボックス前部壁、内側ボックス後部壁、対向する第一および第二の内側ボックス側壁、および前記内側ボックス後部壁の外表面の一部分の上にあるように構成される内側ボックス係合フラップを含み、

前記内側ボックスが前記外側スリーブ内の前記第一の位置にある時、前記内側ボックス係合フラップの縁が、前記外側スリーブ後部壁の内表面上の対応する係合要素と係合し、前記内側ボックスが前記第一の位置から前記第二の位置へと摺動可能となるのを防止するための係止機構を形成するように構成され、

前記容器が、前記内側ボックスが前記第二の位置を超えて摺動するのを防止するための

保持機構をさらに備え、
前記保持機構が、前記内側ボックス上の対応する保持縁と係合して前記内側ボックスが前記第二の位置を超えて摺動するのを防止するように構成された、前記外側スリーブ上のフラップを含み、
前記内側ボックスが、ボックス部分と、前記ボックス部分にヒンジ線で接続されたリッド部分とを含み、前記内側ボックス上の前記保持縁が、前記内側ボックスの前記リッド部分の縁によって形成される、容器。
【請求項２】
前記内側ボックスが、前記内側ボックス後部壁を形成するための後部壁パネルを含む第一の層状ブランク、ならびに前記係合フラップを形成するための第一のパネルおよび前記第一のパネルを前記内側ボックス後部壁に固定するための第二のパネルを含む第二の層状ブランクから形成される、請求項１に記載の容器。
【請求項３】
前記第二のパネル自体が、接着剤によって前記内側ボックス後部壁の外表面に固定される、請求項２に記載の容器。
【請求項４】
前記外側スリーブ後部壁が、前記内側ボックス係合フラップの前記縁を、前記外側スリーブ後部壁の前記対応する係合要素から係合解除することを可能にするための解放要素を備える、請求項１～３のいずれかに記載の容器。
【請求項５】
前記解放要素が、前記外側スリーブ後部壁上の少なくとも一つの切断線によって形成される解放タブを含む、請求項４に記載の容器。
【請求項６】
前記内側ボックスが前記外側スリーブ内の前記第一の位置にある時、前記解放要素が、前記内側ボックス係合フラップの少なくとも一部分上にある、請求項４または５に記載の容器。
【請求項７】
リッド部分が、前記内側ボックスが前記第二の位置にある時、前記外側スリーブ上の前記フラップと係合するためのスロットを含むリッド部分上部壁を含む、請求項１～６のいずれかに記載の容器。
【請求項８】
前記内側ボックス係合フラップが、前記内側ボックスの後部壁上の旋回線の周りを旋回するように構成される、請求項１～７のいずれかに記載の容器。
【請求項９】
前記内側ボックスが、
ボックス部分底部壁、ボックス部分前部壁、ボックス部分後部壁、および第一および第二の対向するボックス部分側壁を含む、ボックス部分、および、
前記ボックス部分にヒンジ線によってヒンジで取り付けられたリッド部分であって、前記リッド部分が、リッド部分上部壁、リッド部分前部壁、リッド部分後部壁、および第一および第二の対向するリッド部分側壁を含む、リッド部分を含み、
前記係合フラップが、前記ボックス部分後部壁の外表面の一部分を覆うように構成される、請求項１～８のいずれかに記載の容器。
【請求項１０】
前記容器が、前記ヒンジ線と前記リッド部分前部壁の下方縁の一方または両方が、前記内側ボックスが前記第一の位置にある時に、前記外側スリーブ前部壁と前記外側スリーブ後部壁の対応する一方の下にあるように構成される、請求項９に記載の容器。
【請求項１１】
前記容器が、前記ヒンジ線と前記リッド部分前部壁の下方縁の一方または両方が、前記内側ボックスが前記第二の位置にある時に、前記外側スリーブの外部に位置付けられるように構成される、請求項１０に記載の容器。

【請求項１２】
前記外側スリーブ後部壁の内表面上の前記対応する係合要素が、前記外側スリーブ後部壁の内表面に貼り付けられたパネルの端によって形成される、請求項１～１１のいずれかに記載の容器。
【請求項１３】
前記内側ボックスおよび前記外側スリーブが、前記内側ボックスが前記第一の位置にある時、前記内側ボックス前部壁および前記内側ボックス後部壁のうちの少なくとも一つが完全に、その対応する外側スリーブ前部壁および外側スリーブ後部壁の下にあるように構成されている、請求項１～１２のいずれかに記載の容器。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、消費財のための容器に関する。本発明による容器には、エアロゾル発生物品またはエアロゾル発生物品の構成要素のための容器としての特定の用途がある。
【背景技術】
【０００２】
折り畳まれた層状ブランクから形成される容器内に消費者物品を包装することは周知である。一例として、紙巻たばこおよび葉巻たばこなどの細長い喫煙物品は、通常ボックス部分および容器の後部壁を横切って延びるヒンジ線を中心としてボックスに接続されたリッドを有する三次元カップ形状のヒンジリッド容器などの剛直なボックス形状の容器に入って販売される。使用時、リッドはヒンジ線を中心に枢動してパックを開き、ボックス内に保持されている消費者物品へのアクセスが得られる。
【０００３】
外側シェルまたはスリーブ、および消費財が収容され、外側シェル内で摺動可能な内側スライドまたはボックスを含む容器に消費財を包装することもまた知られている。消費財をこうした容器から取り出すために、ユーザーは、内側スライドを外側シェル内の初期位置から、内側スライドの開放端またはスライドを部分的に露出させるために内側スライドが外側シェルから外方に突出する開位置へと摺動させる。こうした容器は、スライド・アンド・シェル容器とも呼ばれ得る。
【０００４】
内側スライドまたは内側ボックスは、ユーザーが消費財にアクセスする準備が整うまで外側シェル内に封入されたままになることを確実にすることが望ましい。例えば、容器が輸送されている時に、リッドが閉位置のままであることを確実にすることが望ましい場合がある。これは、消費財が不注意により容器から落ちるのを防止するのに役立ち得る。これは、その鮮度など、消費財の一つ以上の特性を保持するのに役立ち得る。
【０００５】
容器のリッドが不注意により閉位置から開位置へと移動するリスクを低減するように構成された、消費財のための新規かつ改善された容器を提供することが望ましい。さらに、製造工程が容易かつコスト効果が高い、こうした改善された容器を形成するための一つ以上の層状ブランクおよび方法を提供することが望ましい。
【発明の概要】
【０００６】
本発明によれば、消費財のための容器が提供されている。容器は、外側スリーブ前部壁、外側スリーブ後部壁、対向する第一および第二の外側スリーブ側壁、および第一の開放端を含む、外側スリーブと、外側スリーブ内に配置された内側ボックスとを備える。内側ボックスは、ユーザーが内側ボックスの内部にアクセスできない第一の位置と、ユーザーが内側ボックスの内部にアクセスできる第二の位置との間で、外側スリーブに対して摺動可能であるように構成されている。第一の位置から第二の位置への内側ボックスの摺動は、内側ボックスの少なくとも一部が外側スリーブの第一の開放端を通過することを伴う。内側ボックスは、内側ボックス上部壁、内側ボックス底部壁、内側ボックス前部壁、内側

ボックス後部壁、対向する第一および第二の内側ボックス側壁、および内側ボックス側壁の外表面の一部分の上にあるように構成されている内側ボックス係合フラップを含む。内側ボックスが第一の位置で外側スリーブ内にある時、内側ボックス係合フラップの縁は、外側スリーブ後部壁の内表面上の対応する係合要素と係合して、内側ボックスが第一の位置から第二の位置へと摺動可能となるのを防止するための係止機構を形成するように構成されている。

【０００７】

一部の好ましい実施形態では、内側ボックスは、二つ以上の層状ブランクから形成され得る。内側ボックスの後部壁は、内側ボックス係合フラップを形成する層状ブランクとは異なる層状ブランクから形成され得る。これにより、内側ボックスの大部分が従来の層状ブランクから形成され得るため、製造の観点から有利であり得る。したがって、既存の構成要素またはプロセスを実質的に修正することなく、係合フラップを有する内側ボックスを形成することが可能であり得る。

【０００８】

したがって、本開示によれば、消費財のための容器もまた提供される。容器は、外側スリーブ前部壁、外側スリーブ後部壁、対向する第一および第二の外側スリーブ側壁、および第一の開放端を含む、外側スリーブと、外側スリーブ内に配置された内側ボックスとを備える。内側ボックスは、ユーザーが内側ボックスの内部にアクセスできない第一の位置と、ユーザーが内側ボックスの内部にアクセスできる第二の位置との間で、外側スリーブに対して摺動可能であるように構成されている。第一の位置から第二の位置への内側ボックスの摺動は、内側ボックスの少なくとも一部が外側スリーブの第一の開放端を通過することを伴う。内側ボックスは、内側ボックス上部壁、内側ボックス底部壁、内側ボックス前部壁、内側ボックス後部壁、対向する第一および第二の内側ボックス側壁、および内側ボックス側壁の外表面の一部分の上にあるように構成されている内側ボックス係合フラップを含む。内側ボックスが第一の位置で外側スリーブ内にある時、内側ボックス係合フラップの縁は、外側スリーブ後部壁の内表面上の対応する係合要素と係合して、内側ボックスが第一の位置から第二の位置へと摺動可能となるのを防止するための係止機構を形成するように構成されている。内側ボックスは、二つ以上の層状ブランクから形成され、内側ボックスの後部壁は、内側ボックス係合フラップを形成する層状ブランクとは異なる層状ブランクから形成され得る。

【０００９】

こうした内側ボックス係合フラップおよび対応する係合要素配設は、容器のための係止機構の少なくとも一部を形成する。容器にこうした係止機構を提供することによって、容器を、内側ボックスの内部にアクセスできない係止状態のままにすることができる。これは、使用していない時に容器を係止できることを意味する。したがって、係止機構は、容器の不注意による開封のリスクを低減するのに役立ち得る。これは、消費財が不注意により容器から落ちるのを防止するのに役立ち得る。これは、その鮮度など、消費財の一つ以上の特性を保持するのに役立ち得る。

【００１０】

本発明による容器を提供することによって、係止機構の少なくとも一部は、容器の外観から隠され得る。これは、係止機構が明らかには見えにくいことを意味し得る。これは、不注意により容器が係止解除されるリスクを低減するのに役立ち得る。より具体的には、内側ボックス係合フラップは、外側スリーブ後部壁の内表面上の係合要素と係合するように構成されているため、内側ボックス係合フラップは、外側スリーブ後部壁の下にあり、それ故に少なくとも部分的に隠されている。

【００１１】

容器の外観への視覚的な影響が最小限であるか、またはは全くない係止要素は、多くの利点を提供し得る。例えば、容器の外観への視覚的な影響が最小限であるか、または全く有さないことは、容器の外表面上の亀裂またはギャップを最小化または回避することによって、粒子が容器の中へと侵入することを防止するのに役立ち得る。さらに、容器の外観

への視覚的な影響が最小限であるか、または全く有さないことは、容器の外表面が実質的に滑らかであることを確実にするのに役立ち得る。これは、容器の輸送および製造の一方または両方に有利であり得る。これはまた、容器の外表面に印刷する際にも有利であり得る。

【００１２】

外側スリーブに対して摺動可能な内側ボックスを有する容器にこうした係止機構を使用するという選択は、容器の不注意による開封のリスクを低減するのに特に有利であり得る。これは、係止機構を解放するために必要な動作が、内側ボックスを外側スリーブに対して移動させるために必要な摺動動作とは異なる動作であり得るからである。例えば、係止機構を解放するためには押す動作が必要とされる一方で、内側ボックスを外側スリーブに対して移動させるためには摺動動作が必要とされ得る。こうした異なる別個の動作が必要であることにより、容器が不注意により開封される可能性がさらに低くなり得る。

【００１３】

容器の背面に係合フラップを有する係止機構を容器に設けることにより、不用意に容器を開けてしまうリスクを低減することができる。これは、通常の取り扱い中に容器を見たとき、特に、容器を正面から見たときに、係止機構がすぐには分からない場合があるためである。

【００１４】

本発明の係止機構は、容器の幅が容器の高さよりも大きい実施形態で特に有利であり得る。例えば、容器の幅は、７５ｍｍより大きいことが好ましく、容器の幅は、８０ｍｍより大きいことがより好ましく、容器の幅は、８５ｍｍまたは９０ｍｍより大きいことが最も好ましい。容器の幅は、２００ｍｍ未満であることが好ましく、１５０ｍｍ未満であることがより好ましい。これは、こうした実施形態では、ユーザーは、容器の両側を一度に保持する可能性が低いためである。したがって、ユーザーが、容器の通常の取り扱い中に、容器の両側に同時に押力をかける可能性は低い。

【００１５】

外側スリーブ後部壁上の対応する係合要素と係合するように構成された内側ボックス係合フラップの縁は、内側ボックス側部フラップの自由縁であることが好ましい。フラップの自由縁は、フラップを、フラップが従属する物品に直接的に接続しないようなものである。

【００１６】

内側ボックス側部フラップの自由縁は、内側ボックス係合フラップの先端縁であることが好ましい。すなわち、外側スリーブ後部壁上の対応する係合要素と係合するように構成された内側ボックス係合フラップの自由縁は、内側ボックス係合フラップを内側ボックスの残りの部分に接続する内側ボックス係合フラップの縁の反対側に位置付けられることが好ましい。

【００１７】

内側ボックスは、外側スリーブに対して摺動可能であるように構成されている。したがって、外側スリーブは、内側ボックスを受容するように構成された内部を有してもよい。外側スリーブは、外側スリーブの第一の開放端の反対側に位置付けられた第二の端を含み得る。外側スリーブの第二の端は、外側スリーブ底部壁を含み得る。したがって、外側スリーブは、第一の開放端と、外側スリーブ底部壁を含む第二の端とを含んでもよく、外側スリーブ前部壁、外側スリーブ後部壁、および対向する第一および第二の外側スリーブ側壁は、外側スリーブの第一の開放端と外側スリーブの底部壁との間に延びる。

【００１８】

内側ボックスは、ユーザーが内側ボックスの内部にアクセスできない第一の位置と、ユーザーが内側ボックスの内部にアクセスできる第二の位置との間で、外側スリーブ内で移動可能である。第一の位置は、したがって、閉位置と見なされ得る。第二の位置は、開位置と見なされ得る。内側ボックスが第二の位置にある場合、内側ボックスの内部は、ユーザーが直接アクセス可能であり得る。すなわち、ユーザーは、内側ボックスの内部に保持

される消費財にアクセスすることができるようになるために、容器に対してさらに何かを行うことを必要としない場合がある。あるいは、内側ボックスが第二の位置にある時、ユーザーは、内側ボックスの内部内に保持される消費財にアクセスするために、内側ボックスのリッドを移動させる必要がある場合がある。例えば、内側ボックスは、ボックス部分、およびボックス部分に取り付けられたリッド部分を含んでもよく、リッド部分は、内側ボックスのボックス部分のアクセス開口部を覆うように構成されている。リッド部分は、リッド部分がボックス部分のアクセス開口部を覆う閉位置と、ボックス部分の内部に保持される任意の消費財にボックス部分のアクセス開口部を介してアクセスできる開位置との間で、ボックス部分に対して移動可能であってもよい。リッド部分は、ボックス部分にヒンジで接続され、開位置と閉位置との間で枢動するように構成され得る。

【００１９】

容器は、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックスのリッド部分が開位置と閉位置との間で移動できないように構成されてもよい。例えば、内側ボックスが第一の位置にある時、外側スリーブの一つ以上の壁は、内側ボックスのリッド部分が開位置と閉位置との間で移動することを防止し得る。別の言い方をすれば、当該外側スリーブの壁は、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックスのリッド部分を閉位置に保持するように作用し得る。

【００２０】

第一の位置から第二の位置への内側ボックスの移動により、内側ボックスの少なくとも一部が第一の開放端を通過し得る。特に、内側ボックスの少なくとも一部は、外側スリーブの開放端を通して摺動し、したがって、内側ボックスが第一の位置から第二の位置へと移動するにつれて、外側スリーブから外側へ移動するように構成されている。これは、内側ボックスが第二の位置にある時に、内側ボックス内に保持される消費財へのアクセスの容易さを改善するのに役立ち得る。

【００２１】

外側スリーブおよび内側ボックスは、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックスの大部分または全体が外側スリーブによって囲まれるように構成されてもよい。これは、内側ボックスが第一の位置にある時にユーザーがアクセスし得る、内側ボックスの表面積の量を最小化するのに役立ち得る。

【００２２】

外側スリーブおよび内側ボックスは、内側ボックスが第一の位置にある時、内側ボックス前部壁および内側ボックス後部壁のうちの少なくとも一つが完全に、その対応する外側スリーブ前部壁および外側スリーブ後部壁の下にあるように構成されることが好ましい。こうした実施形態では、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックス前部壁および内側ボックス後部壁のうちの少なくとも一つがユーザーに見えない。これは、内側ボックスを第一の位置から第二の位置へと摺動させるために、ユーザーが把持することができる内側ボックスの表面積の量を制限するのに役立ち得る。これは、不注意により容器が開封されるリスクを低減するのに役立ち得る。これはまた、内側ボックスが第一の位置にある時に、容器の前部または後部の一方または両方でユーザーと連通するために利用可能な、途切れのない表面積の量を高めるのにも役立ち得る。

【００２３】

内側ボックスの一部は、内側ボックスが第一の位置にある時に外側スリーブの外側に存在することが好ましい。内側ボックスが第一の位置にある時、内側ボックスの外表面積の約５パーセント～約２０パーセントは外側スリーブの外部に存在することがより好ましい。これは、有利なことに、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックスの大部分がユーザーによって触れることができないが、内側ボックスの一部分はなおもユーザーによって把持され得ることを確実にし得る。これは、ユーザーが内側ボックス内の任意の消費財へのアクセスを望む時に、内側ボックスを固定することと、ユーザーが内側ボックスを外側スリーブから離れるように摺動させるのを補助することとの最適なバランスを提供し得る。

【００２４】
外側スリーブの開放端は、外側スリーブの長軸方向軸に対して角度付けられてもよい。より具体的には、外側スリーブ前部壁の長さは、外側スリーブ後部壁の長さよりも短くてもよい。したがって、各外側スリーブ側壁は、当該外側スリーブ側壁が外側スリーブ前部壁に接続される点と比較して、当該外側スリーブ側壁が外側スリーブ後部壁に接続される点において異なる長さを有してもよい。これは、外側スリーブの開放端において各側壁に対する傾斜縁を画定してもよく、当該各外側スリーブ側壁の傾斜縁は、外側スリーブの長軸方向軸に対して傾斜している。こうした配設は、有利なことに、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックスが非従来の形状を有することを必要とすることなく、内側ボックスの一部がユーザーによって把持され得ることを確実にするのに役立ち得る。特に、こうした実施形態では、内側ボックスは、直方体の形状を有し得る。これは製造の観点からも、好ましい場合がある。これはまた、保管の観点からも望ましい場合がある。
【００２５】
本発明の以下の説明では、本発明による容器の構成要素の相対的な位置を説明するために使用される「側部」、「上部」、「底部」、「前部」、「後部」およびその他の用語は、上部にアクセス開口部を有する直立位置にある容器について言及するものである。本発明による容器を説明する時、説明されている容器の向きに関係なく、これらの用語が使用される。容器の「底部」は、容器の「上部」の反対側の容器の側を意味する。
【００２６】
本明細書で使用される場合、「高さ」という用語は、上部と底部との間に延びる寸法を意味する。本明細書で使用される場合、「幅」という用語は、二つの側部の間に延びる寸法を意味する。本明細書で使用される場合、「奥行き」という用語は、前部と後部との間に延びる寸法を意味する。高さ、幅、および奥行きは、相互に垂直である。
【００２７】
本明細書で使用される場合、「パネル」という用語は、材料の単一の連続した部分から形成される容器の一部分を意味する。パネルは、一つ以上の他のパネルに従属してもよい。
【００２８】
「壁」という用語は、より一般的に容器の面を意味し、また壁は単一のパネルまたはフラップから形成されてもよく、または壁は二つ以上の当接するまたは重なり合うパネルまたはフラップから形成されてもよい。
【００２９】
本明細書で使用される「従属」という用語は、本発明による容器の二つの要素間の物理的接続を説明するために使用される。より詳細には、「従属する」という用語は、容器またはブランクの二つの壁またはパネルなどの、二つの要素の間に材料の連続性があることを示すために使用される。これは、壁またはパネルが、隣接する壁またはパネルに直接的に従属する場合、ならびに中間の壁またはパネルが二つの壁またはパネルを効果的に接続する場合の両方を包含する。
【００３０】
一例として、側壁または側方パネルは、隣接する前部壁または前部パネルに直接的に従属しうる。こうした場合、壁またはパネルは典型的に、隣接する壁から折り目に沿って従属する。別の方法として、丸みのあるまたは面取りされた縁を有する容器では特に、側壁または側方パネルは、前部壁または前部パネルに間接的に従属してもよい。こうしたケースでは、丸みのあるまたは面取りされた縁を有する壁またはパネルは、側壁または側方パネルと前部壁または前部パネルとを接続する。面取りされた縁の場合、側壁または側方パネルおよび前部壁または前部パネルはどちらも、それぞれの折り目に沿って接続する面取りされた縁端を有する壁またはパネルに従属してもよい。これはまた、本発明による容器の随意の構成要素（例えば、内側フレームの形態で提供された補強部材）に適用される。
【００３１】
本明細書で使用される場合、「ヒンジ線」という用語は、容器を開封するために、それを中心にリッドが枢動し得る線を意味する。ヒンジ線は、例えば、折り目またはスコアラ

インであってもよい。それを中心にリッドがボックスに接続されるヒンジ線は、容器の縁と一致してもよく、またはヒンジ線は、縁から間隙を介した位置で、容器の壁を横切って延びてもよい。

【００３２】

「内表面」という用語は本明細書全体を通して、容器が閉位置にある時に、その容器の内部の方（例えば、消費財の方）を向いている、組み立てられた容器の構成要素の表面を指すために使用される。「外表面」という用語は本明細書全体を通して、容器の外部の方を向いている容器の構成要素の表面を指すために使用される。例えば、パッケージの前部壁は、パッケージおよび消費財の内側を向いている内表面と、消費財から離れる方を向いている外表面とを有する。注目すべきは、内表面または外表面が容器の組立に使用されるブランクの一定の側に必ずしも相当しないことである。消費財の周りにブランクがどのように折り畳まれるかに依存して、ブランクの同一の側にある区域は、容器の内側を向く可能性も外側を向く可能性もある。

【００３３】

「折り目」という用語は、ブランクが折り畳まれるブランクの任意の線を説明するために使用される。折り目は、折り畳み作用を支援するための虚弱線によって画定されてもよい。別の方法として、例えばブランク材料およびその他の材料の曲がりやすさの特徴に応じて、虚弱線の存在なしに折り畳みを形成することができる。

【００３４】

容器の係止機構が係合されると、内側ボックスが、外側スリーブに対して第一の位置から第二の位置へと摺動することが防止される。係止機構の係合解除により、内側ボックスを、外側スリーブに対して第一の位置から第二の位置へと摺動することができる。したがって、容器は、内側ボックス係合フラップのその対応する係合要素からの係合解除が、内側ボックスを、外側スリーブに対して第一の位置から第二の位置へと摺動することを可能にするように構成され得る。

【００３５】

一部の実施形態では、内側ボックスは、内側ボックス後部壁を形成するための後部壁パネルを含む第一の層状ブランク、ならびに係合フラップを形成するための第一のパネルおよび第一のパネルを内側ボックス後部壁に固定するための第二のパネルを含む第二の層状ブランクから形成される。第一のパネルは、折り目によって第二のパネルに接続され得る。

【００３６】

第二のパネル自体は、接着剤によって内側ボックス後部壁の外表面に固定され得る。

【００３７】

外側スリーブ後部壁には、内側ボックス係合フラップの縁を、外側スリーブ後部壁の内表面上の対応する係合要素から係合解除することを可能にするための解放要素が提供され得る。別の言い方をすれば、解放要素は、ユーザーによって容器にかけられた圧力に応答して、係止機構が係止状態から係止解除状態に移行することを可能にするように構成されてもよい。特に、解放要素は、ユーザーが係止機構と相互作用してこうした移行を引き起こすことができるように構成されている。内側ボックスが第一の位置にある時、外側スリーブの解放要素は、その対応する内側ボックス係合フラップの少なくとも一部分の上にあることが好ましい。

【００３８】

一部の実施形態では、解放要素は、外側スリーブ後部に切り抜きを含み得る。切り抜きは、内側ボックスが第一の位置にある時に、対応する内側ボックス係合フラップの一部分に隣接して位置付けられてもよい。こうした実施形態では、切り抜きによって、ユーザーは、内側ボックス係合フラップに直接アクセスし、それを外側スリーブ後部壁の内表面上の係合要素から係合解除することができる。特に、ユーザーは、切り抜きを通して自身の指を挿入し、外側スリーブ後部壁の内表面上の係合要素から離れるように内側ボックス係合フラップを押して、係止機構を係止解除し得る。

【００３９】

一部の実施形態では、解放要素は、外側スリーブ後部壁の少なくとも一つの切断線によって形成される解放タブを含む。例えば、外側スリーブ後部壁は、当該壁の解放タブの周囲の少なくとも一部を画定する切断部を含み得る。切断部は、Ｕ字形状の切断部であってもよい。切断部は、弓状の切断部であってもよい。解放タブは、その外側スリーブ後部壁の残りの部分に対して偏向可能であってもよい。これにより、ユーザーからの圧力に応答して、その外側スリーブ後部壁から独立して解放タブを移動させることができる。解放タブは、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックス係合フラップの一部分に隣接して位置付けられてもよい。したがって、使用時に、ユーザーは、解放タブを押して内側ボックス係合フラップに力を並進させて、外側スリーブ側壁の内表面上の係合要素から内側ボックス係合フラップを係合解除することができる。

【００４０】

解放タブの形態で解放要素を提供することによって、係止機構を係止解除するための手段を、容器への視覚的な影響を最小限にして、容器に組み込むことができる。従って、容器を係止解除するための手段は、明白に視覚的に明らかではない場合がある。したがって、これは、不注意により容器が開封されるリスクを低減するのに役立ち得る。

【００４１】

外側スリーブ後部壁の内表面は、内側ボックスが外側スリーブ内で第一の位置にある時に、内側ボックス係合フラップの縁と係合するための係合要素を含む。係合要素は、内側ボックス係合フラップと係合するためのバリアを提供する。特に、バリアは、内側ボックス係合フラップの縁に当接するように構成された係合縁を提供し得る。係合要素は、外側スリーブ後部壁と一体的に形成され得る。例えば、外側スリーブ後部壁は、係合要素を提供するよう、増大した厚さを有する隆起部分を伴って製造され得る。別の方法として、係合要素は、外側スリーブ後部壁の内表面に貼り付けられた要素を含み得る。要素は、外側スリーブ後部壁の内表面を横切って延びる材料の細片を含み得る。

【００４２】

係合要素は、外側スリーブ後部壁の内表面の一部に固定されたパネルから形成され得る。係合要素は、外側スリーブ後部壁の内表面に貼り付けられたパネルを含み得る。パネルは、折り目によって外側スリーブ後部壁に接続され、外側スリーブ後部壁に対して折り目を中心に約１８０度折り畳まれ得る。

【００４３】

容器は、内側ボックスが第二の位置を超えて摺動することを防止するための保持機構をさらに備えてもよい。保持機構は、内側ボックスが外側スリーブから分離されることを防止し得る。保持機構は、内側ボックスが外側スリーブから完全に取り外されることを防止し得る。

【００４４】

保持機構は、有利なことに、内側ボックスが第二の位置に達したという表示をユーザーに提供し得る。より具体的には、保持機構が係合して、内側ボックスが第二の位置を超えて摺動することを防止する時に、ユーザーは、内側ボックスが第二の位置に達したという触覚表示を提供され得る。これは、内側ボックスが、消費財にアクセスできる位置にあるという表示をユーザーに与え得る。

【００４５】

一部の実施形態では、保持機構は、内側ボックスの壁を外側スリーブの壁に接続する伸長可能な部材を含む。伸長可能な部材は、内側ボックスが第一の位置にある場合の後退状態と、内側ボックスが第二の位置にある場合の伸長状態との間で変化するように構成されている。伸長可能な部材は、折り畳まれたパネルの細片の形態で提供されてもよく、細片の第一の端パネルは外側スリーブの一部に固定され、対向する細片の第二の端パネルは内側ボックスの一部に固定される。例えば、細片の第一の端パネルは、外側スリーブ底部壁などの外側スリーブ壁の内表面に固定されてもよい。第二の端パネルは、内側ボックス底部壁または内側ボックス上部壁などの内側ボックス壁の外表面に固定されてもよい。したがって、伸長可能な部材は、後退構成と伸長構成との間で変化する時、蛇腹状態であって

もよい。

【００４６】

保持機構は、外側スリーブ上のフラップを有し得、当該フラップは内側ボックス上の対応する縁と係合して、内側ボックスが第二の位置を超えて摺動することを防止するように構成される。特に、フラップは、内側ボックスが第二の位置にある時に、内側ボックスの縁と係合して、内側ボックスが第二の位置を超えて摺動することを防止するように構成されてもよい。

【００４７】

外側スリーブ上のフラップは、外側スリーブ壁のうちの一つの縁に従属してもよい。外側スリーブ上のフラップは、外側スリーブ前部壁の縁に従属してもよい。外側スリーブ上のフラップは、外側スリーブの開放端に配置された外側スリーブの縁に従属してもよい。外側スリーブ上のフラップは、外側スリーブ上の折り目に従属してもよく、折り目は外側スリーブ壁のうちの一つの縁を形成している。外側スリーブ上のフラップは、外側スリーブの内部の中へと延びてもよい。例えば、フラップは外側スリーブの内部の中へと延びてもよい。フラップは、それが従属する壁から離れるように付勢されてもよい。フラップは、輪郭のある先端縁、例えば、丸みのある先端縁を有してもよい。これは、フラップと内側ボックス上の対応する縁との係合を促進し得る。

【００４８】

一部の実施形態では、外側スリーブ上のフラップは、外側スリーブ前部壁の縁を形成する折り目に従属し、縁は、外側スリーブ開口部に近接して配置され、フラップは外側スリーブの内部の中へと、外側スリーブ前部壁から離れるように延びる。

【００４９】

上述の特徴のうちの一つ以上を有するフラップは、多くの利点を提供し得る。例えば、フラップは、特にフラップが外側スリーブの既存の壁のうちの一つに従属する場合、製造が容易であり得る。フラップが外側スリーブ上の折り目に従属するように配設することによって、フラップは、概して内側ボックス上の縁との係合に向かって付勢され得る。これは、フラップが外側スリーブの内部の中へと延び、それが従属する壁から離れるように突出する場合に特に適用可能である。

【００５０】

内側ボックスの保持縁は、内側ボックスの壁のうちの一つ上の切断線によって形成されてもよい。内側ボックスの保持縁は、内側ボックス後部壁上の切断線によって形成されてもよい。切断線は、弓状の形状を有してもよい。例えば、一部の実施形態では、縁は、内側ボックスの後部壁または前部壁の切断線から形成される。一例として、一部の実施形態では、縁は、内側ボックスの後部壁の弓状の切断線から形成される。

【００５１】

内側ボックスは、ボックス部分と、ボックス部分にヒンジ線で接続されたリッド部分とを含み得る。こうした実施形態では、外側スリーブ上のフラップと係合するように構成された内側ボックス上の縁は、内側ボックスのリッド部分の縁によって形成されてもよい。こうした実施形態では、リッド部分は、内側ボックスが第二の位置にある時にフラップと係合し、外側スリーブに対して固定位置に保持されてもよい。しかしながら、有利なことに、このような位置において、内側ボックスのボックス部分は、ヒンジ線を中心に枢動して、内側ボックスの内部およびその中に収容される任意の消費財へのアクセスを許容することができ得る。したがって、こうした実施形態では、ユーザーは、内側ボックスを第二の位置に摺動させ、次いで、リッド部分および外側スリーブに対してボックス部分を枢動させて、内側ボックスの内部へのアクセスを得ることができる。

【００５２】

内側ボックスのボックス部分は、ボックス部分前部壁、ボックス部分上部壁、および対向する第一および第二のボックス部分側壁を含み得る。ボックス部分は、一つ以上の消費財を収容するように構成された内部を有してもよい。

【００５３】

内側ボックスのリッド部分は、リッド部分前部壁、リッド部分後部壁、リッド部分上部壁、および対向する第一および第二のリッド部分側壁を含み得る。これらの壁は共に、三次元カップ形状のリッドを有するリッド部分を提供し得る。

【００５４】

リッド部分が閉位置にある時、リッド部分前部壁、リッド部分後部壁、およびリッド部分側壁はそれぞれ、内側ボックスのボックス部分の対応する壁に当接し得る。リッド部分が閉位置にある時、リッド部分前部壁、リッド部分後部壁、およびリッド部分側壁はそれぞれ、内側ボックスのボックス部分の対応する壁と同一平面上にあり得る。

【００５５】

外側スリーブ上のフラップと係合するように構成された内側ボックスのリッド部分の保持縁は、リッド部分前部壁の下方縁であってもよい。

【００５６】

外側スリーブのフラップは、内側ボックスが第二の位置にある時、リッド部分前部壁の下に延び得る。こうした実施形態では、リッド部分上部壁は、内側ボックスが第二の位置にある時に外側スリーブのフラップの先端縁がそれを通って延びるスロットを含んでもよい。これは有利なことに、外側スリーブのフラップと内側ボックスのリッド部分との間の係合点を提供し得る。特に、これは、外側スリーブのフラップが、内側ボックスのリッド部分と、信頼性のある一貫した様態で係合し得ることを確実にするのに役立ち得る。加えて、係合はまた、内側ボックスが第二の位置にある時に、内側ボックスのリッド部分と外側スリーブとの間の任意の相対的な移動を低減または回避するのに役立ち得る。スロットは、リッド部分上部壁およびリッド部分前部壁を接続するリッド部分の縁に近接して提供されてもよい。内側ボックスが第二の位置にある時に、外側スリーブのフラップが、リッド部分前部壁の内表面に対して同一平面上にあることを確実にするのに役立ち得るため、こうした位置は有利であり得る。これは、外側スリーブのフラップが、内側ボックスのその他の部分、またはその中の任意の消費財容器と干渉するリスクを最小化するのに役立ち得る。

【００５７】

上述のように、内側ボックスは、ボックス部分底部壁、ボックス部分前部壁、ボックス部分後部壁、および対向する第一および第二のボックス部分側壁を含む、ボックス部分、およびヒンジ線によってボックス部分にヒンジで取り付けられ、リッド部分上部壁、リッド部分前部壁、リッド部分後部壁、および対向する第一および第二のリッド部分側壁を含む、リッド部分を含み得る。こうした実施形態では、容器は、内側ボックスのヒンジ線とリッド部分前部壁の下方縁のうちの一方または両方が、内側ボックスが第一の位置にある時に、外側スリーブ前部壁と外側スリーブ後部壁の対応する一方の下にあり、外側スリーブ内に包含されるように構成され得る。こうした配設は、有利なことに、内側ボックスが第一の位置にある時に、内側ボックスのリッド部分が内側ボックスのボックス部分に対して枢動することが防止されることを意味し得る。これは、内側ボックスが第一の位置にある時に、ユーザーが内側ボックス内に保持される消費財にアクセスすることが防止されることを意味し得る。こうした実施形態では、容器は、内側ボックスのヒンジ線およびリッド部分前部壁の下方縁のうちの一方または両方が、内側ボックスが第二の位置にある時に、外側スリーブの外部に位置付けられるようにさらに構成され得る。こうした配設は、有利なことに、内側ボックスが第二の位置にある時に、内側ボックスのリッド部分が内側ボックスのボックス部分に対して枢動することができることを意味し得る。これは、内側ボックスが第二の位置にある時に、ユーザーが内側ボックス内に保持される任意の消費財にアクセスすることを可能にし得る。

【００５８】

内側ボックス係合フラップは、リッド部分後部壁の外表面の一部分を覆うように構成され得る。代替的にまたは追加的に、内側ボックス係合フラップは、ボックス部分後部壁の外表面の一部分を覆うように構成され得る。

【００５９】

内側ボックス係合フラップは、内側ボックス後部壁上の旋回線の周りを旋回可能であり得る。旋回線は、内側ボックス係合フラップを、内側ボックス後部壁の一部分に直接接続し得る。あるいは、旋回線は、内側ボックス係合フラップを構成要素に接続し得、それ自体は、例えば、接着剤を介して、内側ボックス後部壁の外表面に固定され得る。構成要素は、パネルであり得る。パネルは、内側ボックス後部壁の外表面の一部分のみの上に延在し得る。パネルは、内側ボックス後部壁全体にわたって延在し得る。

【００６０】

上述の本開示の容器または複数の容器では、内側ボックスは、外側スリーブ内に配置される。したがって、こうした容器は、内側ボックスが外側スリーブ内に配置される、完全に組み立てられた状態でユーザーに供給されると言える。しかしながら、本開示はまた、内側ボックスが最初は外側スリーブとは別々に供給され、ユーザーが内側ボックスを外側スリーブの内部の中に挿入して完全に組み立てられた容器を形成する配設も企図している。

【００６１】

したがって、本開示によると、外側スリーブおよび外側スリーブの中に受容されるように構成された内側ボックスを含んで本開示の容器を形成する、部品のキットが提供されている。部品のキットは、内側ボックスを外側スリーブの中に挿入して、完全に組み立てられた容器を形成する方法に関する一つ以上の指示を含み得る。これは、内側ボックスを外側スリーブの中に挿入する工程をユーザーが実施することができることを意味するため、部品のキットの形態で容器を提供することは、製造の観点から有利であり得る。

【００６２】

本開示はまた、上述の容器の外側スリーブおよび内側ボックスの各々を形成するための一つ以上の層状ブランクに関する。したがって、本開示によると、外側スリーブを形成するための第一の層状ブランクと、内側ボックスを形成するための第二の層状ブランクが提供されている。外側スリーブは、そのため、単一の層状ブランクで形成されてもよく、内側ボックスは、別個の単一の層状ブランクで形成されてもよい。

【００６３】

上述のように、本発明による容器は、一つ以上の折り畳まれた層状ブランクから形成されることが好ましい。一つ以上の層状ブランクは、厚紙、ボール紙、プラスチック、金属、またはこれらの組み合わせが挙げられるが、これらに限定されない、任意の適切な材料または材料の組み合わせから形成されてもよい。容器の異なる構成要素は、同一の材料から形成されてもよく、または異なる材料から形成されてもよい。一つ以上の層状ブランクの各々は、約１００グラム／平方メートル～約３５０グラム／平方メートルの重さを有する層状厚紙ブランクであってもよい。好ましい実施形態では、このブランクの厚さは、約１００マイクロメートル～約５００マイクロメートルであり、約２００マイクロメートル～約３５０マイクロメートルであることが好ましい。

【００６４】

容器は、幅の狭い二つの側壁によって間隙を介した幅の広い二つの壁（前部および後部）を含む、直方体であることが好ましい。本発明による容器は、長軸方向の直角の縁および横断方向の直角の縁を有する直方体の形状であってもよい。容器は、一つ以上の長軸方向の丸み付きの縁、横断方向の丸み付きの縁、長軸方向の面取り付きの縁、または横断方向の面取り付きの縁、またはこれらの組み合わせを含んでもよい。

【００６５】

容器は、複数の消費財を含み得る。消費財は、エアロゾル発生物品であり得る。エアロゾル発生物品は、エアロゾル発生基体が燃焼して煙を形成するたばこ材料を含む、フィルター付き紙巻たばこまたは他の喫煙物品であってもよい。エアロゾル発生物品は、たばこ材料が燃焼するのではなく、加熱されてエアロゾルを形成する物品であってもよい。エアロゾル発生物品は、ニコチン含有エアロゾルが、燃焼を用いずに、また一部の場合には加熱を用いずに、例えば化学反応によって、たばこ材料、たばこ抽出物、またはその他のニコチン供与源から発生される物品であってもよい。

【００６６】

エアロゾル発生物品は、金属箔または金属化紙で形成される内側パッケージに包まれた束の形態で容器内に提供されていてもよい。内側パッケージ材料は、金属化ポリエチレンフィルムおよびライナー材料の積層として形成されてもよい。ライナー材料は、スーパー仕上げグラシンペーパーでもよい。加えて、内側パッケージ材料には、印刷受容性のトップコートを提供してもよい。内側パッケージは、容器のリッドがそれぞれの開位置にある時に、ここを通してエアロゾル発生物品を取り出すことができるアクセス開口部を有する。

【００６７】

寸法の適切な選択によって、本発明による容器は、異なる合計数のエアロゾル発生物品、または異なる配置のエアロゾル発生物品を保持するように設計されてもよい。例えば、寸法の適切な選択によって、本発明による容器は、合計１０～３０の喫煙物品などのエアロゾル発生物品を保持するように設計されてもよい。エアロゾル発生物品は、合計数に応じて、異なる並べ方で配置されてもよい。

【図面の簡単な説明】

【００６８】

ここで、例証としてのみであるが、添付図面を参照しながら本発明をさらに説明する。

【００６９】

【図１】図１は、本発明による容器を形成するための複数の層状ブランクを示す。

【００７０】

【図２Ａ】図２Ａは、本発明による容器を形成するための外側スリーブおよび内側ボックスを示す。

【００７１】

【図２Ｂ】図２Ｂは、本発明による容器を示す。

【００７２】

【図３】図３Ａ～３Ｃは、本発明による容器の異なる構成における係止機構の断面図を示す。

【発明を実施するための形態】

【００７３】

図１は、本発明による容器１を形成するための三つの層状ブランク、すなわち、第一の層状ブランク１００、第二の層状ブランク２００および第三の層状ブランク３００を示す。層状ブランクを使用して、図２Ｂに示す容器１を形成することができる。

【００７４】

第一の層状ブランク１００および第三の層状ブランク３００は、容器１の内側ボックス１０を形成するように構成される。内側ボックス１０は、リッド部分５０およびボックス部分６０を含む。

【００７５】

層状ブランクにおける破線は折り目を示し、実線は切断線を示す。第一の層状ブランク１００は、リッド部分前部壁パネル１５１、第一のリッド部分外側壁パネル１５２、第二のリッド部分外側壁パネル１５３、リッド部分上部壁パネル１５４、リッド部分後部壁パネル１５５、リッド部分前部下部パネル１５６、第一のリッド部分内側壁パネル１５７、第二のリッド部分内側壁パネル１５８、第一のリッド部分強化フラップ１５９ａ、および第二のリッド部分強化フラップ１５９ｂを備える。これらのパネルは共に、容器１のリッド部分５０のリッド部を形成する。リッド部分上部壁パネル１５４は、以下でより詳細に説明するように、外側スリーブ２０のフラップ２１を受容するためのスロット１８０を含む。

【００７６】

第一の層状ブランク１００は、ボックス部分前部壁パネル１６１、第一のボックス部分外側壁パネル１６２および第二のボックス部分外側壁パネル１６３、ボックス部分底部壁パネル１６４、ボックス部分後部壁パネル１６５、第一のボックス部分内側壁パネル１６７および第二のボックス部分内側壁パネル１６８、第一のボックス部分ダストフラップ１６９ａおよび第二のボックス部分ダストフラップ１６９ｂをさらに備える。これらのパネ

ルは共に、容器１のボックス部分６０を形成する。

【００７７】

第二の層状ブランク２００は、外側スリーブ後部壁パネル２１１、第一の外側スリーブ外側側壁パネル２１２および第二の外側スリーブ外側側壁パネル２１３、外側スリーブ底部壁パネル２１４、外側スリーブ前部壁パネル２１５、第一の外側スリーブ内側側壁パネル２１７および第二の外側スリーブ内側側壁パネル２１８、および第一の外側スリーブ補強フラップパネル２１９ａおよび第二の外側スリーブ補強フラップパネル２１９ｂを含む。これらのパネルは共に、容器１の外側スリーブ２０を形成する。

【００７８】

第二の層状ブランクは、外側スリーブ前部壁パネル２１５に従属する外側スリーブフラップパネル２２１をさらに含む。外側スリーブ２０が組み立てられる時、外側スリーブフラップパネル２２１は外側スリーブ２０上にフラップ２１を形成する。フラップ２１は、外側スリーブ前部壁１５の縁を形成する折り目に従属し、縁は、外側スリーブ開口部２５に配置され、フラップ２１は外側スリーブ２０の内部の中へと、外側スリーブ後部壁１５から離れるように延びる。これは、図２Ａから最もよく分かり得る。

【００７９】

図２Ａおよび図２Ｂを参照して以下でより詳細に説明するように、外側スリーブ２０上のフラップ２１は、内側ボックス１０が設定位置を超えて摺動することを防止するための保持機構を画定する。

【００８０】

第二の層状ブランク２００は、外側スリーブ係合要素２３１をさらに含む。このパネル２３１は、外側スリーブ後部壁パネル２１１に従属する。外側スリーブ２０が第二の層状ブランク２００を折り畳むことによって組み立てられる時、外側スリーブ係合パネル２３１は、外側スリーブ後部パネル２１１に対して、第二の層状ブランク２００の折り目２３２を中心に折り畳まれる。外側スリーブ係合パネル２３１は次に、外側スリーブ後部壁１１の内表面に貼り付けられて、外側スリーブ後部壁１１の内表面上に係合要素３１を形成する。係合要素３１は、内側ボックス係合フラップ３９と係合するための係合縁３３を画定する。

【００８１】

第二の層状ブランク２００は、外側スリーブ後部壁１１内に解放タブ７０を画定するための、外側スリーブ後部壁パネル２１１上の一部分２７０をさらに含む。この部分２７０は、外側スリーブ後部壁パネル２１１のＵ字形状の切断線２７１によって部分的に区切られる。解放タブ７０は、図３Ａ～３Ｃを参照して以下でより詳細に記載するように、容器の係止機構の係止解除を容易にするように構成される。

【００８２】

第三の層状ブランク３００は、組み立てられた内側ボックス１０のための内側ボックス係合フラップ３９を形成するように構成される。第三の層状ブランクは、内側ボックス係合フラップ３９を形成するための第一のパネル３９０と、内側ボックス係合フラップ３９を、例えば、接着剤を介して、内側ボックス１０のボックス部分後部壁６５に貼り付けるための第二のパネル３８０、または固定パネル３８０とを含む。第一のパネル３９０は、第三の層状ブランク３００の折り目３７０によって第二のパネル３８０に接続される。図２Ａに示すように、組み立てられた内側ボックス１０では、第一のパネル３９０は、内側ボックス１０のボックス部分後部壁６５から離れるように延びて内側ボックス係合フラップ３９０を形成するように、この折り目３７０を中心に折り畳まれる。

【００８３】

図２Ａは、図１の層状ブランクから形成された外側スリーブ２０および内側ボックス１０を示す。外側スリーブは、外側スリーブ後部壁１１、外側スリーブ前部壁１５、外側スリーブ底部壁、第一の外側スリーブ側壁、第二の外側スリーブ側壁１３、および外側スリーブ底部壁の反対側の外側スリーブ２０の端にアクセス開口部２５を含む。外側スリーブ後部壁１１は、解放タブ７０を備える。外側スリーブフラップ２１は、外側スリーブ２０

の開放端２５に配置される外側スリーブ前部壁１５の縁に従属する。外側スリーブフラップ２１は、外側スリーブ２０の内部の中へと、外側スリーブ前部壁１５から離れるように延びている。

【００８４】

内側ボックスは、リッド部分５０と、ヒンジ線９０によって一緒に接続されたボックス部分６０とを含む。リッド部分５０は、リッド部分上部壁、リッド部分前部壁、リッド部分後部壁５５、第一のリッド部分側壁、および対向する第二のリッド部分側壁５３を含む。ボックス部分６０は、ボックス部分底部壁６４、ボックス部分前部壁、ボックス部分後部壁６５、第一のボックス部分側壁、および対向する第二のボックス部分側壁６３を含む。

【００８５】

内側ボックスは、ボックス部分後部壁６５の一部分を覆うように構成された内側ボックス係合フラップ３９をさらに含む。

【００８６】

内側ボックス１０および外側スリーブ２０は、分解された状態で図２Ａに示されている。すなわち、内側ボックス１０は、外側スリーブ２０の外部にありかつ分離している。内側ボックス１０および外側スリーブ２０を図２Ｂの容器１へと組み立てるためには、内側ボックス１０を外側スリーブ２０のアクセス開口部２５に通過させ、外側スリーブ２０の内部の中へと挿入する。こうした挿入により、外側スリーブフラップ２１が外側スリーブ前部壁１５と同一平面上にあるように、外側スリーブフラップ２１が外側スリーブ前部壁１５に向かって偏向される。こうした挿入はまた、内側ボックス係合フラップ３９が、内側ボックス後部壁６５の外表面に貼り付けられる、第二のパネル３８０または固定パネル３８０と同一平面上にあるように、内側ボックス係合フラップ３９を、内側ボックス後部壁６５に向かって偏向させる。

【００８７】

内側ボックス１０が外側スリーブ２０の中へと完全に挿入されると、図２Ｂに示される位置、つまり、第一の位置に存在する。この位置では、内側ボックス係合フラップ３９の先端縁は、外側スリーブ係合要素パネル２３１の先端縁と係合し、このパネル自体は外側スリーブ後部壁１１の内表面に固定される。こうした係合は、内側ボックス１０が外側スリーブ２０から離れるように摺動して、したがってアクセス開口部２５から戻ることを防止するよう作用する。したがって、内側ボックス１０は、こうした係合によって外側スリーブ２０内の定位置に保持される。そのため、内側ボックス１０と外側スリーブ２０によって形成された係止機構があり、この係止機構は、図２Ｂに示す位置にある時に、内側ボックス１０を外側スリーブ２０内に係止するように作用する。これは、容器１がユーザーに販売される構成であり得る。

【００８８】

容器１を係止解除し、そして消費財へのアクセスを得るには、ユーザーは、まず外側スリーブ後部壁１１上の解放タブ７０を押さねばならない。これは、図３Ａ、３Ｂ、および３Ｃを参照して、以下でより詳細に説明される。

【００８９】

図３Ａ～３Ｃは、本発明による容器のための係止機構の部分断面図を示す。図は、様々な構成における係止機構を示す。

【００９０】

係止機構は、内側ボックス係合フラップ３９および外側スリーブの係合要素３１を含む。係合要素３１は、外側スリーブ後部壁１１の内表面に固定された外側スリーブ係合要素パネル２３１によって形成される。外側スリーブ後部壁１１は、外側スリーブ後部壁１１に解放タブ７０を画定する内部切断線７１を含む。解放タブ７０は、図３Ａに示すように、内側ボックス１０が第一の位置にある時に、内側ボックス係合フラップ３９の上にあるように位置付けられる。内側ボックス係合フラップ３９は、内側ボックス１０のボックス部分後部壁６５の外表面に固定された、内側ボックス１０の第二のパネル３８０に従属する。

【００９１】
係合要素３１は、図３Ａに示すように、容器が第一の位置にある時に、内側ボックス係合フラップ３９の先端縁と係合して、内側ボックス１０が外側スリーブ２０のアクセス開口部に向かって、および開放端から摺動することを防止する、係合縁３３を有する。
【００９２】
図３Ａでは、係止機構は係止状態にある。係止機構を係止解除するために、ユーザーは解放タブ７０を押して、外側スリーブ２０に対して内方に偏向させる。次に、解放タブ７０は、内側ボックス１０の内側ボックス係合フラップ３９と接触し、内側ボックス係合フラップ３９を、外側スリーブ２０の係合要素３１から押し退ける。これにより、図３Ｂに示すように、内側ボックス係合フラップ３９の先端縁が、係合要素３１によって形成されたバリアから係合解除される。
【００９３】
したがって、図３Ｂは、内側ボックス１０が外側スリーブ２０に対してなおも第一の位置にある、係止解除状態にある係止機構を示す。しかしながら、係止機構が係止解除されているため、内側ボックス１０は、外側スリーブ２０に対して直線的に、内側ボックス１０内に保持される任意の消費財がユーザーによってアクセスされ得る第二の位置に向かって移動することができる。結果として、解放タブ７０を押して係止機構を係止解除した後、ユーザーは、外側スリーブ２０内で内側ボックス１０を摺動させて、消費財へのアクセスを得ることができる。こうした摺動移動は、図３Ｂと３Ｃの間の、外側スリーブ２０の構成要素に対する内側ボックス１０の構成要素の位置の変化によって図示されている。特に、ボックス部分側壁６５、第二のパネル３８０、および内側ボックス係合フラップ３９はすべて、図３Ｂのそれらの位置に対して図３Ｃにおいて上方に移動している。したがって、図３Ｃは、内側ボックス１０が第二の位置にある、係止解除状態の係止機構を示す。
【００９４】
ユーザーが消費財へのアクセスを終了すると、ユーザーは、内側ボックス１０を外側スリーブ２０の内部の中へと戻るよう摺動させ得る。これは、内側ボックス係合フラップ３９を、図３Ｂに示す位置に対応する位置に戻す。しかしながら、ユーザーが解放タブ７０をもはや押さないので、内側ボックス係合フラップ３９は、図３Ａに示す位置に戻り、係合要素３１と係合することができる。これにより、係止機構が図３Ａの係止状態に戻る。このような状況では、内側ボックス側部フラップ３９は、内側ボックス係合フラップ３９と第二のパネル３８０との間の折り目３７０によって生成される付勢力のために、図３Ａに示す位置に自動的に戻り得る。
【００９５】
上述のように、外側スリーブ２０は、内側ボックス１０が設定位置を超えて摺動することを防止するための保持機構を形成するのに役立つフラップ２１を含む。特に、フラップ２１は、内側ボックス１０が第二の位置にある時に、内側ボックス１０が第二の位置を超えて摺動することを防止するように、内側ボックス１０のリッド部分５０と係合するように構成されている。図２Ａおよび図２Ｂの配設では、これは、内側ボックス１０が第一の位置から第二の位置へと移動するにつれて、フラップ２１がリッド部分５０の中へと摺動することによって達成される。特に、内側ボックス１０が第一の位置から第二の位置へと移動すると、フラップ２１は、リッド部分前部壁５１の下方縁を捕捉し、リッド部分５０の内側を摺動する。フラップ２１は、リッド部分前部壁５１の内表面と概して同一平面上にあるままであり得る。内側ボックス１０が第二の位置に達すると、フラップ２１の先端縁の丸みのある部分が、リッド部分上部壁５４のスロット１８０を通って突出する。しかしながら、フラップ２１およびスロット１８０は、フラップ２１の先端縁の一部がスロット１８０を突出してリッド部分上部壁５４と係合できないように形状設定およびサイズ設定されている。この係合は、内側ボックス１０が第二の位置を超えてさらに摺動することを防止する。

【図面】

【図１】

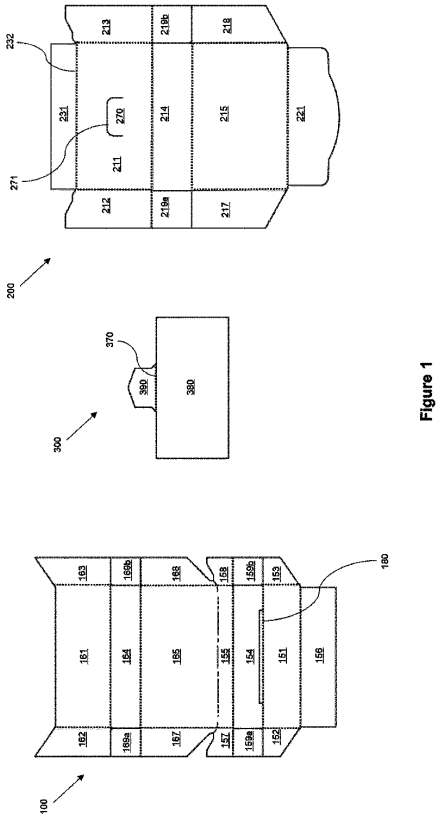

Figure 1

【図２Ａ】

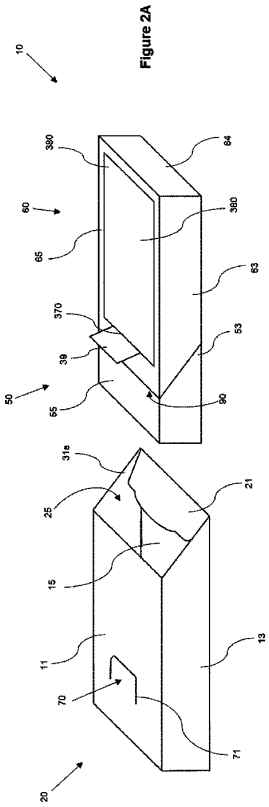

Figure 2A

【図２Ｂ】

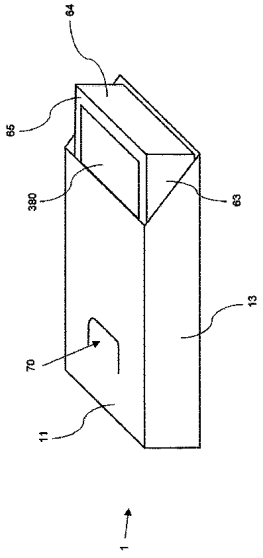

Figure 2B

【図３Ａ】

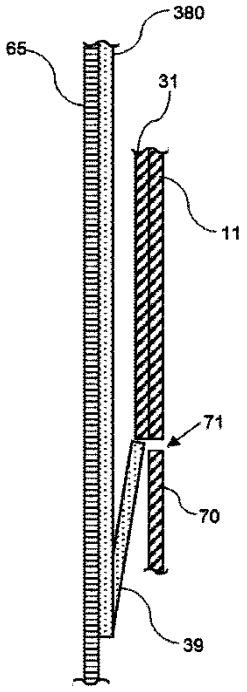

Figure 3A

【図３Ｂ】

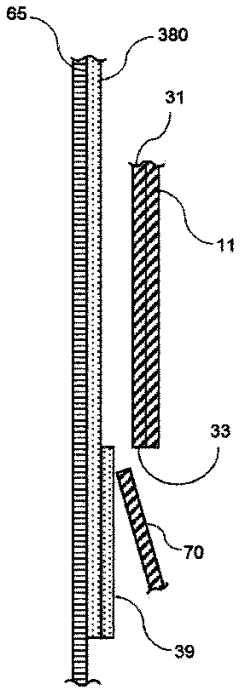

Figure 3B

【図３Ｃ】

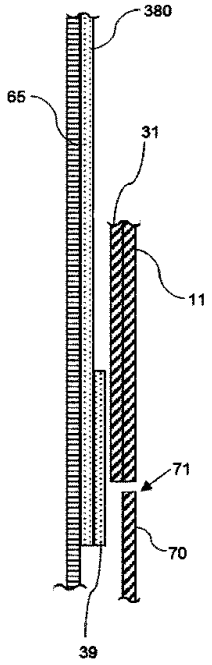

Figure 3C

フロントページの続き

(74)代理人
上杉 浩
(74)代理人 100120525
弁理士 近藤 直樹
(74)代理人 100139712
弁理士 那須 威夫
(74)代理人 100167911
弁理士 豊島 匠二
(72)発明者 ダイオグル オヌール
スイス ２０００ ヌシャテル ケ ジャンルノー ３
(72)発明者 ポリアー ジュリー
スイス ２０００ ヌシャテル ケ ジャンルノー ３
(72)発明者 ロドリゲス ルイス アンドレ
スイス ２０００ ヌシャテル ケ ジャンルノー ３
(72)発明者 シン ディグヴィジャイ
スイス ２０００ ヌシャテル ケ ジャンルノー ３

審査官 植前 津子

(56)参考文献
国際公開第２００８／０５４３０５（WO，Ａ１）
国際公開第２０１３／１４５０７４（WO，Ａ１）
実開昭５９－０４３３１５（ＪＰ，U）
登録実用新案第３２１６６８４（ＪＰ，U）
特開２０１９－０８５１１８（ＪＰ，Ａ）
米国特許第０４７８４３１５（ＵＳ，Ａ）

(58)調査した分野 (Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｂ６５Ｄ ８５／１０
Ｂ６５Ｄ ５／００－ ５／７６